

# 中部地区モデル QR分科会ベースキャンプ

課題一覧（提案、ペンディング含む）

## 補足資料(案)

協力：宮川氏・菅野氏・鈴木理事・兼子

（若い人の意見を尊重！）

## 「SCCC協議会設立の経緯」

SCCC協議会は、社)持続可能なモノづくり・人づくり支援協会(ESD21)の「わくわくJIT研究会(主査:河田名城大名誉教授)」メンバーが主となり、TPS(トヨタ生産方式)の代表格「流れを創る」をベースに、我が国のサプライチェーン資金循環速度:SCCC指標による生産性向上を意図して新設しました。

## 「SCCC協議会設立時の目標」

SCCC協議会の目標を、「SCCCを良くするための普及展開を図るべく、IoT・FinTech等を基盤技術として、『物流・金流・商流リアルタイム統合システム』の構築を通じ、TPS(トヨタ生産方式)の代表格「流れを創る」をベースに、現場力・本社力・IT力の機能連携を進め、我が国の生産性革命に寄与する」としました。

# 「SCCC協議会 目標と実施事項」

## ○目標:資金循環速度向上10倍速

\* TPS(トヨタ生産方式)の代表格「流れを創る」

●大目標:日本の「SCCC(政府・民間)」を短縮する。

●中目標:「全ての伝票にQRコード」を政府の政策にする。  
(「SCCC規格:QRコード標準」の整備と普及)

●小目標:中部地区で「QRコード伝票」成功事例を作る。

## ○現状の課題

- (1)資金循環速度向上が肝要であるが、世の中の会計制度が追  
い付いていない。
- (2)成長戦略の指標になったが、未実施の状態(特に政府調達)。
- (3)「SCCC規格:QRコード標準(案)」は出来たが、素人には分  
かりづらい。
- (4)流通業界においては、全ての商品へのQRコード等による成  
功事例があるが、製造業でのQRコード利用が限定的。
- (5)大規模製造企業における工程、プロセス管理は成熟しており。  
QRコード活用も進んでいるが、中小規模企業では活用され  
ていない。
- (6)零細企業ではまだ手書き、FAX、手入力が主な発注書、請求  
書発行であり、電子化が進んでおらず、DXも進んでいない。
- (7)零細企業でのExcel版「岸田モデル」の活用が停滞している。

.....etc

## ○課題解決案

【全体案】上記課題は粒度に差がある。

- ①政府提言（大目標・中目標）
- ②製造業モデル化（中目標）
- ③局所的なDX適用（小目標）

各々別チームで検討を進める。 

※河田先生作成Excel版「ベースキャンプ」をもとに  
チーム、タスク分割、スケジューリングを行う。

# 【アプローチ方法:チーム構成】

## ①政府提言:「政府提言チーム」

＜ミッション＞:問題点(1)(2)(4)

最終ゴールに向けて理論構築し、政府提言を進める(理想の具体化)。

## ②製造業モデル化:「SCCC規格:QRコード標準化チーム」

＜ミッション＞:問題点(3)(5)

「製造業用QRコード標準」を整備し、標準化を進める(モデル化)。

## ③局所的なDX適用:「QRコード活用・普及活動チーム」

＜ミッション＞:問題点(6)(7)

「岸田モデル」をもとに具体的な実例を拡大。認知と普及を進める(汎用化)。

## 【実施案】

- 各チームを構成し、チームごとに具体的なタスク（ベースキャンプをもとに検討）、スケジュールを立案する。各チームにリーダーを設ける。
- プロジェクト全体は、河田先生に管理して頂くが、チーム毎の進め方は、各チームリーダーが行う。
- 定期的に進捗管理、課題管理を行い、情報共有を進める。

# 実施事項一覧表(概要:案)

P— 9

「政府提言」 担当:①「政府提言チーム」

\* 主担当・納期は再調整が必要

NO	実施テーマ	実施内容	主担当	納期
1(河10)	中小製造業伝票QR化政府提言	経済産業省にQR化推進部署の設定を依頼	河田 兼子	年内
2(河11)	資金循環速度向上に対する政 府提言	政府へ「支払いはより早く」のビジョンを改めて 発信	河田 兼子	来年
3(河12)	自治体公共工事に対する提言	政府自治体公共工事の盆暮れ払いの60日以 内化 政府率先垂範	河田 兼子	来年
4(河13)	製造業QRコード仕様提言(ベン ダー)	マイクロソフトを含むデータ標準化の提言(漢字 データ)	河田 野村 兼子	来年
5(河14)	製造業QRコード仕様提言(標準 化)	協賛ESD21と共に、日本の標準生産方式に推 薦頂く	河田 野村	来年
6	全ての伝票にQRコード	政府に「全ての伝票にQRコード」を提言	野村 兼子	来年

\* 河NOは、河田先生作Excel版「ベースキャンプ案」実施事項一覧のNO

## 「SCCC規格:QRコード標準」 担当:②「SCCC規格:QRコード標準化チーム」

NO	実施テーマ	実施内容	主担当	納期
1(河1)	SCCC規格:QRコード標準の修正	SCCC規格:QRコード標準ver 0.1.0の修正	兼子 岸田	年内
2(河5)	DADCアーキエクチャーフー一部修正	EDI参加企業でも、改めてQR伝票の発行を可能にする。	兼子	-9/30
3(河6)	検収プロセス、検品プロセスでの活用	QRコード利便性の確認(外国人従業員利用)、現地現物利用	河田 野村	年内
4(河7)	マクロ体系整合性確認打合せ	岸田モデル 野村モデル 位置づけの確認	河田 野村 岸田	-11/30
5	個別生産におけるQRコード活用	個別製造業適用検討	野村 宮川	来年

\* 河NOは、河田先生作Excel版「ベースキャンプ案」実施事項一覧のNO

## 「QR利活用」 担当:③「QRコード活用・普及活動チーム」

NO	実施テーマ	実施内容	主担当	納期
1(河2)	QR伝票利活用クイックガイド整理	簡易なQR伝票の利活用説明	兼子 鈴木	年内
2(河3,4)	岸田アプリダウンロード方式	アプリの最新確認とダウンロード方式の検討 (適用範囲、ターゲットの設定)	宮川 菅野	-11/30
3(河9)	ホームページ改修	アプリダウンロード方式検討、認知、拡大／ ホームページでのダウンロード申請機能強化。 新規ホームページの検討(閲覧頻度向上等)。	宮川 菅野	-11/30
4	「岸田モデル」の普及	「岸田モデル」の具体的な成功実績を数社 作る(商工会議所等)。	兼子 宮川 菅野	来年

\* 河NOは、河田先生作Excel版「ベースキャンプ案」実施事項一覧のNO

「全体統括」 担当:①②③

NO	実施テーマ	実施内容	主担当	納期
1(河15)	「流れ創り」DX・AIの普及	「瞬間払い」DX・AI化の奨め。(トヨタ系:スマートな「関税」対策)	河田 鈴木	来年
2(河8)	QR化事業としての採算性確保	QRコード利活用における予算検討(採算性、実現性測定)。	河田 鈴木 兼子	年内

\* 河NOは、河田先生作Excel版「ベースキャンプ案」実施事項一覧のNO